

令和4年度 十勝農試 定期作況報告 ばれいしよ

月	作況	事由
6月20日	平年並	植付期は平年より1日早い5月9日で、萌芽期は平年並であった。萌芽後の気温は平年よりかなり低かったが、6月中旬の気温が高かったため、茎長は平年並である。茎数は、「男爵薯」が平年よりやや多く、「トヨシロ」は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや良	開花始は平年より1～2日早かった。6月下旬～7月上旬の気温が高かったことから、茎長は平年より長い。上いも重は「男爵薯」が平年比125%、「トヨシロ」は105%であり、平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
8月20日	良	8月上旬は平年より気温が低く、日照時間は少なかったが、それ以外は気温が高く、日照時間も多かった。「男爵薯」では、前節よりさらに生育が進み枯凋期は平年より4日早かった。収穫期の平年値と比べて、上いもの平均重は軽かったが、上いも数が多かったことから、上いも重は平年比113%と多収で、でん粉価は平年並であった。「トヨシロ」では、上いも重が平年比105%と平年を上回っており、でん粉価は平年並である。 以上のことから、現在の作況は良である。
9月20日	やや良	「トヨシロ」の枯凋期は平年より5日早かった。上いも数が平年より多く、上いも重は平年比107%とやや多収であったが、上いもの平均重は平年より軽かった。でん粉価は平年より0.6ポイント高かった。 以上のことから、「男爵薯」を含め、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	植付期は平年より1日早い5月9日で、萌芽期は平年並であった。萌芽後の気温は平年よりかなり低かったが、6月中旬～7月上旬の気温が高かったことから、開花始は平年より1～2日早く、7月の茎長は平年より長かった。その後は、8月上旬を除くと気温が高かったため、枯凋期は平年より4～5日早かった。「男爵薯」では、上いも数が平年より多く、上いも重は平年比113%と多収で、でん粉価は平年並であった。「トヨシロ」では、上いも数は平年より多く、上いも重は平年比107%とやや多収で、でん粉価は平年より0.6ポイント高かった。両品種とも上いもの平均重は平年より軽かった。 以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	男爵薯			トヨシロ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次							
植付期(月日)	5.9	5.10	△1	5.9	5.10	△1	
萌芽期(月日)	5.29	5.29	0	5.30	5.29	1	
開花始(月日)	6.26	6.27	△1	6.27	6.29	△2	
枯凋期(月日)	8.18	8.22	△4	8.23	8.28	△5	
茎長 (cm)	6月20日	26.7	24.4	2.3	21.0	22.1	△1.1
	7月20日	56.7	50.3	6.4	74.2	63.5	10.7
	8月20日	56.7	51.4	5.3	77.7	64.6	13.1
茎数 (本/株)	6月20日	4.7	4.2	0.5	3.1	3.1	0.0
	7月20日	5.3	4.3	1.0	3.0	3.1	△0.1
7月20日	上いも重(kg/10a)	2,791	2,238	553	2,797	2,656	141
8月20日	上いも重(kg/10a)	4,317	3,846	471	4,314	4,110	204
	同上平年比(%)	112	100	12	105	100	5
	でん粉価(%)	15.2	15.3	△0.1	16.4	16.6	△0.2
収穫期	上いも数(個/株)	14.9	11.0	3.9	12.7	10.2	2.5
	上いもの平均重(g)	65	76	△11	77	92	△15
	上いも重(kg/10a)	4,317	3,814	503	4,357	4,087	270
	中以上いも重(kg/10a)	3,010	2,997	13	3,439	3,601	△162
でん粉価(%)	15.2	15.1	0.1	16.4	15.8	0.6	
平年比(%)	上いも重	113	100	13	107	100	7

備考) 1)平年値は、前7か年中、平成29年(豊作年)及び平成27年(凶作年)を除く5か年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	株数 (株/10a)	植付日 (月日)
18	3	えん麦 野生種	75	30	4,444	5.9
施肥量 (kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
8	20	14	5	なし	なし	